

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 186 3月号

2021年3月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



読書と私 No.176

「本による子どもとのコミュニケーションを！」

新宮町 小林 秀浩

飽き性で、何事も続けることが苦手で、好きな車雑誌や漫画しか読まなかった私が、60歳の今まで読書を続けられたのは、本を通じた子どもとのコミュニケーションの影響が大きかったと思われま。

私が読書好きになれたのは、子どもが小さいときに促され、絵本『これはのみのぴこ(谷川 俊太郎 作)』、『はらぺこあおむし(エリック・カール 作)』、『<ぐりとぐら>シリーズ(中川 李枝子 作)』、『きんぎょがにげた(五味 太郎 作)』等を何回も読まされたことで、最初はぎこちなかった親子関係が、一緒に絵本を楽しむことで、自然と親密度が高まったという経験が大きいと思います。

その後子どもたちは大きくなり、読み聞かせることもなくなりましたが、自然と本好きに成長しました。特に、娘は大きくなると共通の話題も少なくなりましたが、一緒に新宮図書館に行き、お互い好きな本を楽しむ共通の時間を継続して持つことができました。

今、私は文書管理会社に転職、娘は県外の図書館に勤めたりとお互い色々変化がありました。帰省した娘から、「図書館の本に貼ってあるブックカバーの貼り方」を教えてもらったり、一緒に新宮図書館に行き、本に接したり、図書館の皆さんとの会話を楽しんだり、今でも本を通じたコミュニケーションを大切にしています。

今はコロナ渦でストレスが増えています。図書館においてもいろいろと感染予防に力を入れておられます。私たちも感染予防をしっかりと行い、大切な人と“本”を話題にコミュニケーションをされては如何でしょうか。



『はらぺこあおむし』

エリック・カール 作

もり ひさし 訳 偕成社

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『家族写真 3.11原発事故と忘れられた津波』

笠井 千晶 著 小学館 365ページ 2020年6月刊



東日本大震災が発生した当時、著者は名古屋のテレビ局に勤務していた。その年の夏、原発事故後の福島を見るため、休日に一人で福島第一原発の北22kmにある南相馬市萱浜地区を訪れたのが、すべて

の始まりであった。そこで偶然出会った上野敬幸さんとその家族が、著者の運命を変える。福島県沿岸部では、甚大な津波被害に加えて原発事故にも見舞われていた。そして放射能危険地域として警察や自衛隊も退避した中で、その場にとどまり被曝も顧みず、瓦礫の中を死に物狂いで家族を捜し続けていた人たちがいたことを、著者は知ることになる。

津波で父母と2人の子どもが行方不明の上野さんも避難を拒み、全く援助の手が差し伸べられていない中で仲間と捜索を行い、8歳の長女も含め40人近くの遺体を瓦礫の中から発見し

ていた。当時妊娠中のため避難した上野さんの妻は、我が子の火葬にも立ち会えず、3歳の長男は行方不明のまま、上野さんが今でも一人で捜し続けていた。放射能被害だけがクローズアップされた被災地で、上野さんは「福島の現実はまだ知られていない」と繰り返す。

著者も、津波被害者の壮絶な体験を聞き取る中で、この現実を伝えるには、震災後の人生が紡ぎだされる歳月を記録するしかない、テレビ局を辞める。それから、週末にカメラを抱えて現地に5年半通い続けた。そして上野さん一家の姿を中心に撮影した450時間にも及ぶ映像で2017年にドキュメンタリー映画を制作し、これをもとに執筆したのが本書である。震災後に生まれた次女の成長の喜びと、亡き子どもたちへの断ち切れない思いを抱きながら、前を向いて生きていこうとする上野さん一家を通して、家族とは、生きるとは、を問う一冊である。

(新宮図書館 米澤)

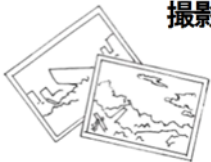
トピックス

※申込、問い合わせは各図書館まで

新宮図書館

写真展「ふるさと新宮の風景 昔と今」

撮影者本人が、半世紀前に撮影した新宮町内の風景写真と、当時と同地点から撮影した現在の風景写真とを並べて展示します。新宮町の昔と今をお楽しみください。



【期間】3月3日(水)～22日(月) 【場所】新宮図書館 研修室

【撮影】名村 一義さん(写真家・新宮町在住)



※写真展開催にあわせて、図書館フロアに郷土の本を展示しています。写真展と一緒にぜひご覧ください。

播磨圏域8市8町の図書館が利用できます！

たつの市に在住の方は、たつの市立図書館の他にも、播磨圏域内(姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町)の図書館で本を借りることができます。

【利用登録】利用したい図書館で手続きしてください。

【図書の返却】借りた図書館へ返却してください。(宍粟市、上郡町、佐用町の図書はたつの市内の図書館でも返却できます。)

★詳細は市内図書館カウンターまでお問い合わせください。

おすすめする子どもの本・172

『ふわふわしっぽと小さな金のくつ』

デュ・ボウズ・ハイワード 作 マージョリー・フラック 絵 羽島 葉子 訳 PARCO 出版



ふわふわしっぽという名のうさぎの女の子が「おとなになったら、わたし、イースター・バニーになるの」と言いました。イースター・バニー

は春の訪れを祝う「イースター」の前夜に、子どもたちに幸せを呼ぶ卵を届けるうさぎのことで、心が優しく、足が速くて、おまけにとても賢いうさぎだけになれるのでした。

ふわふわしっぽは大人になり、21匹の子ども達もだいぶ大きくなったある日のこと、長老が新しいイースター・バニーを選ぶと聞いて、宮殿に見物に行きました。長老はずらりと子どもを従えたふわふわしっぽに、たくさんの子をしつけた賢さや優しさ、すばっしこさがあると知り、5番目のイースター・バニーに決めました。

次の日、卵を配り続け疲れ切ったふわふわしっぽに、長老は、険しい山の頂上に住む幼い男の子に卵を届けるという一番大事で厳しい仕事を頼みました。早速ピョンと旅立ったふわふわしっぽでしたが、もう頂上はすぐそこという所で足が滑ってしまい、ぐるんぐるんと落ちて野原を転がり、ようやく止まった頃には、夜が明け始めていました。

体が痛くて倒れ込んだ時、長老が世界で一番勇気のあるふわふわしっぽに小さな金の靴を履かせてくれました。すると体の痛みはすっかり消え、無事男の子に卵を届けることが出来ました。

優しい色彩の絵が春の訪れを伝え、ふわふわしっぽの果敢な心や、夢を諦めることなく叶える姿に励まされます。読んであげるなら5歳くらいから。

(御津図書館 四井)

『ポッパーさんとペンギン・ファミリー』

R&F・アトウォーター 作 上田 一生 訳 文溪堂



ペンキ屋のポッパーさんの頭の中は、いつもあることでいっぱいでした。それは、南極についてです。そして特に、南極にいるペンギンのことでした。そんなポッパーさんにある日、南極探検隊のドレー

ク提督からプレゼントが届きました。木箱を開けるとペンギンが出てきました。

ポッパーさんはペンギンに、探検家にちなんで、キャプテンクックと名付けました。また、快適に暮らせるように、冷蔵庫のドアに息抜き用の穴を開けたり、ドアの内側に取っ手を取りつけ、キャプテンクックが好きな時に出入りができるようにしてやりました。

そのうちに、キャプテンクックが家じゅうから、糸巻き、チェスの駒、パズルのピース等を集めて巣作りを始めました。

はじめは1羽だったペンギンが12羽になり、ポッパーさんは貧乏になりました。そこでペンギンたちを養うため芸を教え、ポッパー・ペンギン団を結成しました。そして、いよいよ公演旅行へと出かけていきます。

ポッパーさんの心配をよそに、好奇心旺盛なペンギンたちが移動の列車の中で大暴れしたり、オペラ公演中に乱入したりと、巻き起こす数々の騒動が愉快地描かれています。

ペンギンの絵を見れば種類がわかる挿絵が秀逸。読んであげるなら7、8歳から。

(龍野図書館 片岡)



3月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳、保護者

13日(土)
11時～11時20分
『おててがでたよ』他

揖保川図書館

【対象】3～4歳、保護者
6日(土)・13日(土) 10時30分～10時45分
『ぐりとぐら』他

新宮図書館 【対象】2～4歳、保護者

21日(日)・29日(月)
11時～11時20分
『はなをくんくん』他

御津図書館

【対象】1～4歳、保護者
14日(日)・21日(日) 11時～11時20分
『トラックはこぶよ』他
【対象】5歳～
14日(日)・21日(日) 11時30分～11時50分
『まほうつかいのノナばあさん』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

13日(土)・27日(土)
10時15分～10時45分
『おいしいおかゆ』他

揖保川図書館

6日(土)・13日(土)
11時～11時30分
『ねずみのすもう』他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

12日(金)
10時～11時30分
『傍聞き』
長岡 弘樹 著

揖保川図書館

5日(金)
10時～12時
『法の雨』
下村 敦史 著

御津図書館

19日(金)
13時30分～15時30分
『ファーストラヴ』
島本 理生 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

11日(木) 10時～11時30分
『地下の洞穴の冒険』リチャード・チャーチ 著



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

眺める読書

大迫力の動物たちや、美しい風景などの写真集を展示します。いつも借りる本とご一緒に、1冊いかがですか。おうち時間のさらなる充実に、図書館をご利用ください。

【期間】3月30日まで

新宮図書館

ふるさと再発見

今月開催の写真展「ふるさと新宮の風景 昔と今」にちなみ、新宮町をはじめ、たつの市、西播磨地域の郷土資料を紹介いたします。写真展と合わせてご覧ください。

【期間】3月29日まで

揖保川図書館

コミュカを鍛えよう

現代社会では、対面でもオンラインでもコミュニケーション力が求められています。いろんな場面で役立つスキルやマナーなど関連本を紹介いたします。

【期間】3月30日まで

御津図書館

イメチェン

春は新しいことにチャレンジする人が多い季節です。そんな春におすすめのイメージチェンジしてみたくなる本を集めています。今までと違う自分になって新生活を始めませんか？

【期間】3月30日まで